

教皇フランシスコ、5月24日「アレルヤの祈り」でのことばと、 「ラウダート・シ特別年」の宣言

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、

今日は、回勅『ラウダート・シ』の発布五周年にもあたります。この回勅は、地球と貧しい人々の叫びにさらに注意を傾けるよう求めるものです。教皇庁人間開発のための部署の尽力のおかげで、これまで記念してきた「ラウダート・シ週間」に引き続き、「ラウダート・シ特別年」が開始されます。今日、5月24日から来年の5月24日までのこの一年間は、この回勅について考える特別な年となります。わたしたちがともに暮らす家である地球と、もっとも弱い立場にある兄弟姉妹を大切にするために力を合わせるよう、わたしはすべての善意の人に呼びかけます。

いつくしみ深い神、
天地万物の造り主よ、
わたしたちの思いを解き放ち、心に触れてください。
あなたのたまものである被造物の一員でいられますように。
この過酷な日々の中で苦しんでいる人、
とくにもっとも貧しい人と弱い立場にある人に寄り添ってください。
感染症の世界的流行に立ち向かう中で、
創造的な連帯を示すことができるよう支えてください。
共通善を探し求めるために、
変化を受け入れる勇気をお与えください。
皆が互いに結ばれ、支え合っていることを
今ほど感じられるときはありません。
地球と貧しい人々の叫びに耳を傾け、
応えられるようにしてください。
今のこの苦しみが、
兄弟愛にあふれ、持続可能な世界を築くための産みの苦しみとなりますように。
扶助者聖マリアの優しいまなざしのもと、
わたしたちの主キリストによって祈ります。
アーメン。

(「アレルヤの祈り」後のことばからの抜粋)

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

イタリアと他の国々では今日、主の昇天が祝われます。福音朗読(マタイ 28・16—20 参照)には、ガリラヤに集まり、「イエスが指示しておかれた山に登った」(16 節)使徒たちのことが記されています。復活した主と弟子たちが最後に集ったのは、山の上でした。「山」には、重要な象徴的な意味があります。イエスは山上で真福八端の教えを告げ(マタイ 5・1—12 参照)、山の上で祈り、山上で群衆を受け入れ、病者をいやしました(マタイ 15・29 参照)。しかし山の上で今回は、師なるイエスが行い、教え、いやされたのではなく、復活した主が弟子たちに、行動し、教えを告げ知らせよう求め、ご自分が行ってきたことを続けるよう命じておられます。

復活した主は、すべての民への宣教を弟子たちに託します。「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい」(19—20 節)。使徒たちに託された使命とは、伝えること、洗礼を授けること、教えること、そしてイエスによって示された道、すなわち生きている福音をたどることです。この救いのメッセージは、何よりもまず、あかしを——あかさなければ伝えられません——求めます。現代の弟子であるわたしたちも信仰のもとにあかしするよう求められています。わたしたちはそのような重大な責務を前にすると、自分の弱さを痛感し、自分には無理だと思ってしまう。使徒たちもきっとそうだったことでしょう。それでも、くじけないでください。天に昇る前にイエスが弟子たちに言われたことばを思い起しましょう。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいる」(20 節)。

この約束は、イエスがわたしたちの間に、つねにいやしを与えながら現存してくださることを保証しています。それでは、その現存はどのように実現するのでしょうか。あらゆる人の同伴者として歴史を旅するよう教会を導くイエスの霊を通して実現します。キリストと御父から遣わされたこの霊の働きは、罪をゆるすことと、悔い改めて心を開き、主のたまものを信頼するすべての人を聖なるものとすることです。イエスは、世の終わりまでわたしたちとともにいると約束することにより、復活した主としてこの世に現存され始めます。イエスはこの世におられますが、別のしかたでおられます。それは、復活した主としての現存、つまり、みことばと秘跡と聖霊の絶え間ない内的な働きとして表される現存です。主は天に昇られ、御父の右の座に栄光のうちについておられますが、今もつねにわたしたちとともにおられるということ、主の昇天の祭日はわたしたちに伝えてあります。イエスは聖霊の力をもってわたしたちの中におられます。それこそが、わたしたちの力、わたしたちの忍耐力、わたしたちの喜びの源なのです。

復活した主をこの世界であかしするための優しさと勇気を教えてください。おとめマリアが、母としてわたしたちを守り、わたしたちの旅に寄り添ってくださいますように。

(カトリック中央協議会 HP より)